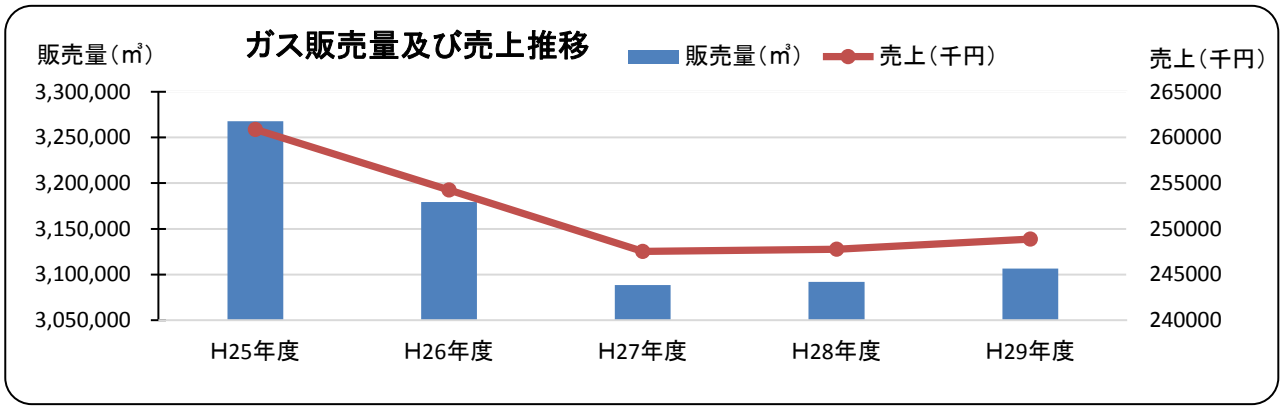
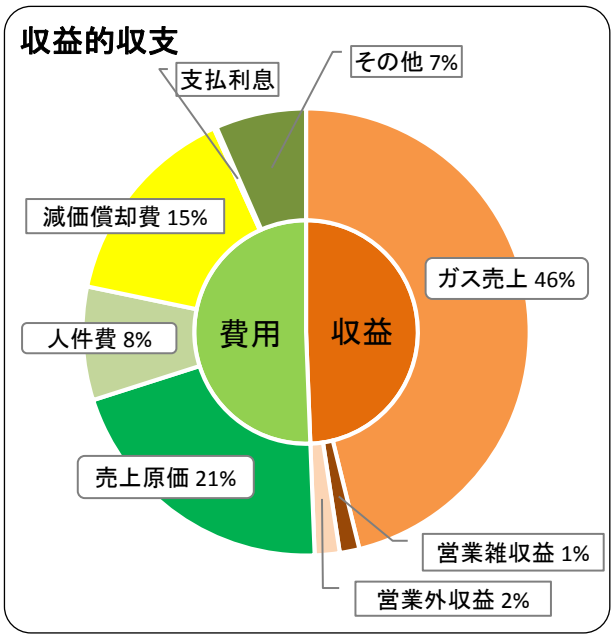
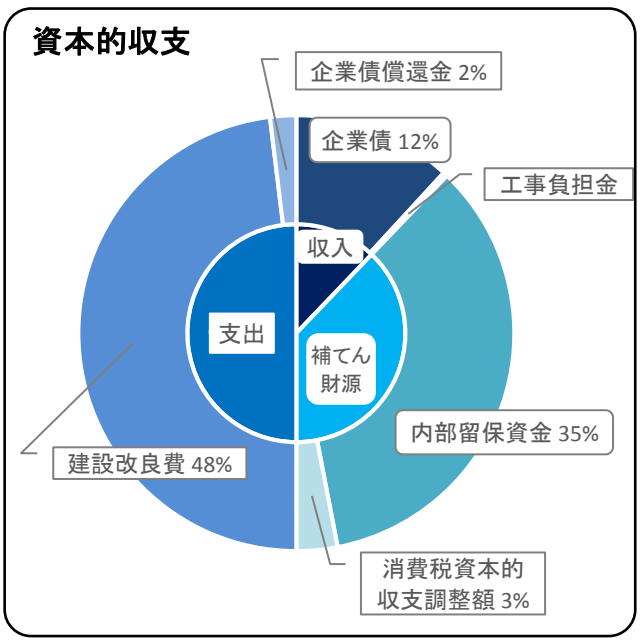
平成29年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事　　業　　概　　要
・ 年度末需要家件数　2,923件　　（年間累計　35,093件、対前年度　18件増加）
・ ガス販売量（9,200kcal）　3,106,472㎥　　（対前年度　14,518㎥増加）
・ ガス導管延長　120,318.2m　　（対前年度　244.3m増加）
・ 供給管本数　3,249本　　（対前年度　7本増加）



収　　支	予算額（A）千円	決算額（B）千円	増減額（B）−（A）	対前年度比（%）
収益的収支（税抜）				
ガス事業収益	291,559	266,243	▲ 25,316	▲ 0.8%
ガス事業費用	296,028	272,849	▲ 23,179	▲ 0.4%
当年度純利益	―	▲ 6,606	―	▲ 20.6%
資本的収支（税込）				
資本的収入	30,001	30,798	797	183.6%
資本的支出	143,690	126,800	▲ 16,890	130.4%
差引不足額	―	▲ 96,002	―	119.3%

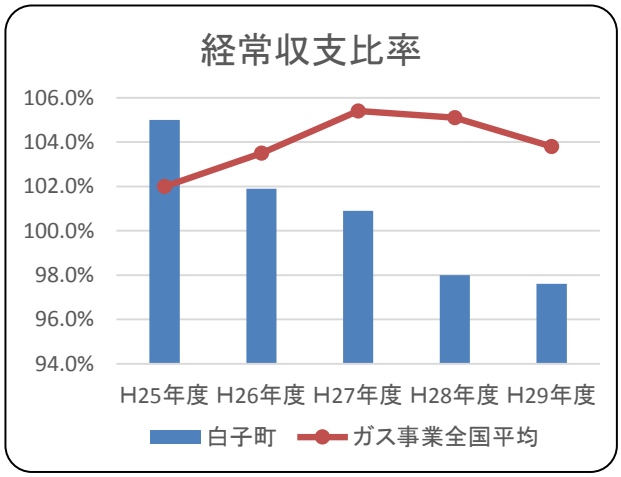
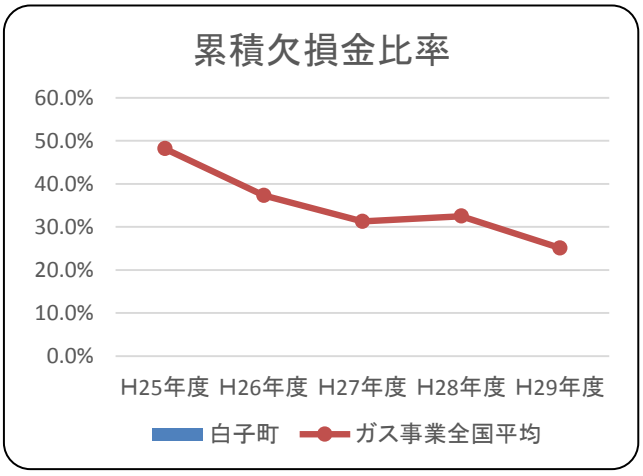
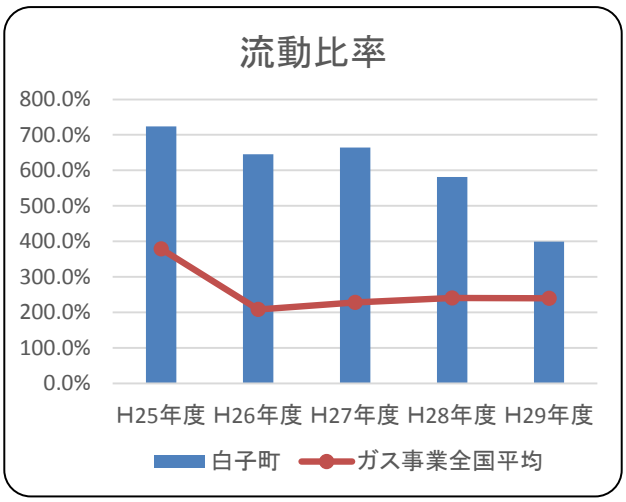
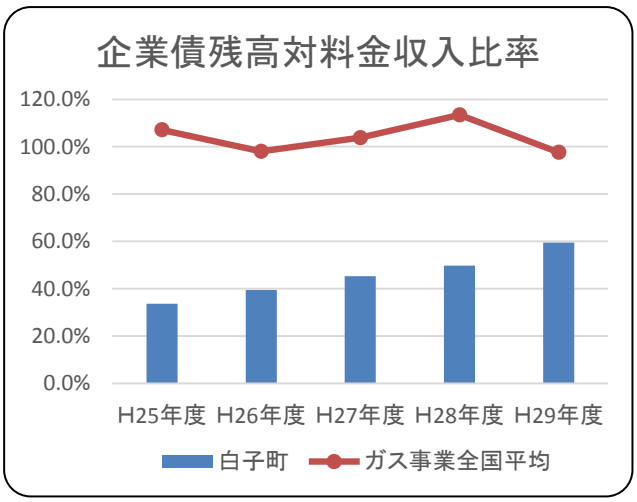




収　支　概　要

収益的収支（税抜）において、ガス事業収益は、ガス売上が寒波の影響から0.4%増加したものの内管工事等の営業雑収益及び営業外収益が減少した影響から266,243千円（前年度比▲0.8%）でありました。
また、ガス事業費用は、老朽化設備の更新に伴い減価償却費が3.3%増加しましたが、その他の経費等にて経営効率化努力を反映し、272,849千円（前年度比▲0.4%）でありましたことから2期連続の経常損失となり純損失6,606千円を計上しました。
なお、損失額6,606千円は繰越利益剰余金7,382千円にて補てんし、補てん後の残額全額を繰越利益剰余金としました。

資本的収支（税込）からは、資本的収入が企業債を増額した影響から30,798千円（前年度比183.6%）、対する資本的支出は、安全安定供給に向け老朽管の入替えを最優先に実施したことから事業費が増加し126,800千円（前年度比130.4%）となり、発生する不足額96,002千円を消費税資本的収支調整額及び内部留保資金にて補てんしました。

剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	繰越利益剰余金
H29期首残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	7,382千円
当年度変動額	0千円	0千円	0千円	△ 6,606千円
H29期末残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	776千円

財務分析指標